



も

看護職再就業支援研修 ～報告～ [講義研修/シミュレーション研修] p2

く

看護職再就業支援研修 ～報告～ [受講生、講師感想] p4

じ

病院見学ツアー～報告～ / セカンドキャリア支援研修～開催案内～ p6

管理者等研修～報告・開催案内～ p7

AED研修 / 看護協会研修部Twitter開設 / 届出サイト「とどけるん」登録方法 p8

看護職再就業支援研修 ～報告～

Ⅰ 講義研修(4日間)

令和元年度に実施した再就業支援研修の講義研修が終了しましたので報告いたします。
この研修は、看護の仕事に復帰したいけど、ブランクがあって不安がある…一歩が踏み出せない…復職したけど、技術に不安がある… **そんなあなたを応援します。**

研修日程

地域	日程	講義研修場所	参加人数
県央	8/26・8/27・8/28・8/29	茨城県看護研修センター	10名(延べ38名)
県西	8/2・8/5・8/6・8/7	茨城県結城看護専門学校	12名(延べ39名)
県南	9/3・9/4・9/5・9/6	茨城県厚生連研修センター	17名(延べ62名)

研修内容

▽看護職の動向 ▽看護の現状 ▽体験談及びグループワーク ▽看護職への再就業支援
▽皮膚・排泄ケア ▽フィジカルアセスメント ▽感染管理 ▽輸血ポンプ・採血の演習
▽医療安全 ▽救急看護 etc…

受講者の声

- ・現在の医療現場ではどのようなことが主流になっているのかわかることができ良かった。実際に使用している物品を使ったことで、手技の再確認ができた。
- ・参加するか迷っていたが、受講して良かった。新しい知識を知れ、復習することができた。一歩踏み出せる良い機会となった。
- ・ブランクの期間が長いと基本を忘れがちで、アセスメントから看護ケア・実施を考えるのがとても大変だった。
- ・実施日数、時間共に良かった。内容も盛りだくさんだった。

受講の様子



シミュレーション研修(1日間)

再就業支援研修(講義研修)受講後、医療現場で遭遇する可能性のある看護場面を設定し、その中での判断や対応を訓練する研修を行いました。

最初は、緊張して消極的だった受講生も、事例をもとにシミュレーションとリフレクションを繰り返し行い、具体的な手技や対応を学ぶことができたので、徐々に自信を持ってシミュレーション研修に臨んでいました。

シミュレーション研修の目的

- シミュレーションを通して看護介入の優先順位について考え行動できる
- シミュレーション時の対応方法を振り返り、話し合いの場から今後の課題を見つけることができる
- 最近の看護の知識や技術を習得して再就職に対しての不安を解消し、職場復帰を容易にすること

テーマ

- ①排泄時の安全な看護について
- ②初期評価(A B C D E)と対応

研修日程

地域	日程	講義研修場所	参加人数
県央	9/14	茨城県看護研修センター	12名
県西	8/24	県西生涯学習センター	8名
県南	9/28	東京医科大学茨城医療センター	12名

受講の様子



受講者の声

- 一つ一つ観察すること、対応の仕方を確認しながら進められて良かった。忘れていたことを色々教えてもらったので、有意義な時間になった。
- 今回の研修で、それぞれに協力が必要な場面があり、思いやり・知識の重要性も同時に学ぶことができた。色々な事例に対してポイントをとりえ、今後の看護へいかせるようにしていきたい。
- 自分の知識の無さを痛感すると同時に、新たに学ぶことができた。思っていた以上に深く学ぶことができ、次のステップへの糧になった。これで満足せず、自分でも知識を増やしていきたい。
- 一緒に研修を受けているメンバーとも仲良くなれ、意見交換ができ研修が楽しかった。
- 患者さんに合わせた対応、看護をしていくことが、大切だと感じた。再就職への不安は少々残りますが、また病院で働いてみたい！と気持ちが前向きになった。

シミュレーション研修を受講した方の感想

県西地域のシミュレーション研修に参加した**稲山 久美子様**より実際に参加した感想を頂戴しました。

どんな研修が分からず、不安を抱えたまま当日を迎えました。

いざ研修が始まると、日常の看護場面で多い患者様の転倒、急変の二事例について学びました。

講師の先生が患者役、私達は看護師役です。その場面で、どう声掛けしたら良いのか、観察することは何か、どう動けば良いのか。同じ事例について、2グループで交互に何度も展開し、振り返ることで回を重ねる度に意見が深まりました。また、人形ではなく人を相手に実践するので、急変時の対応では緊迫した雰囲気もあり、とても緊張しました。でもそれは、実際の現場の雰囲気そのもので、近く復職を目指す私にとって、とても良い刺激にもなりました。

来月からいよいよ復職します。今日頂いた良い緊張感と、看護師として出来ることの視点を大切に、頑張っていきたいと思います。(看護師 稲山 久美子氏)

再就業支援事業シミュレーション研修を終えて ～講師の先生方からの感想



今回、看護職再就業支援におけるシミュレーション研修の依頼を受け、大変光栄に思ったと同時に多大なる責任を感じました。しかし、微力ながら再就業を目指す看護師の方々へのサポートができること、またシミュレーション研修を通じて学習の楽しさや一人ではなく、皆で考え学んでいくことの楽しさを是非体験していただきたいと考え、研修を企画しました。3つの地区全てにおいて、研修生の前向きな姿勢や思考の多さを感じ、再就業を目指す“決意”と“看護のプロ”である意識が感じられ、私も貴重な経験となりました。

私達看護職にとって、経験は貴重であり財産だと考えます。また、看護観や価値観は一人一人違います。再就業を目指す上で不安は強いと思いますが、一歩踏み出すことで新たな経験、看護観につながると思います。“看護のプロ”としてお互い前を向いていきましょう。ありがとうございました。

東京医科大学茨城医療センター／看護師長 齋田健一

講師の先生方からの感想

自施設以外でのシミュレーション研修を実施するのが初めてであり、多くの不安もありましたが実際には私自身がとても楽しく参加することができました。考える事とできる事は違いがあると思います。頭で分かっているけど実際にできない…シミュレーション研修を通して少しでも臨床の実際を体験してもらえたと思っています。今後に活かされることを願っています。

東京医科大学茨城医療センター
看護師 小林 恵美

今回、再就業支援のシミュレーション研修に参加させていただき、参加者の学ぶ姿勢の素晴らしさに驚きました。再就業への糧となれるような研修にできるのか不安がありましたが、参加動機が前向きで積極的な発言が聞かれとても嬉しく思いました。いざ始めると、経験者の視点と知識が発揮され活発なデブリーフィングとなり、さすが経験者だと感心する場面が多々ありました。スタッフ教育のシミュレーション研修しか経験がなかったため、年代、経験年数、部署、休職期間も様々な方への研修はとても勉強になりました。

東京医科大学茨城医療センター
看護師 石山 真澄

再就業支援においてシミュレーション研修をさせて頂き、参加者一人一人が「一つでも多くのことを学ぼう」という姿勢が強く感じられました。緊張感も伝わってきましたが、デブリーフィング時にお互いの意見を積極的に交換し合い、2回目、3回目と回を重ねるごとに実施者の対応が的確になっていき、終了時には笑顔も見られ、達成感を感じていただくことが出来たのではないかと思います。今後もシミュレーション研修をより良いもの出来るよう努力し、機会があれば今後も再就業支援研修にも関わらせて頂ければと思っています。

東京医科大学茨城医療センター
看護師 深澤 篤



病院見学ツアーを開催しました ～開催報告～

標記事業を開催いたしましたので報告いたします。この事業は、未就業看護職を対象に、個人では行きづらい病院見学をツアーとし、見学会を行いました。

第1回 令和元年10月16日(水) 9:30～16:00

介護老人保健施設 渡里の里

水府病院

参加者5名



第2回 令和元年10月29日(火) 9:45～15:30

㈱日立製作所ひたちなか総合病院

参加者1名



対象者 下記9市町村にお住いの未就業看護職

水戸市、笠間市、那珂市、ひたちなか市、小美玉市、茨城町、

大洗町、城里町、東海村

申込者には昼食を用意。見学後には意見交換会を行い、就業相談員を交え参加者同士で就業に関して意見交換を行いました。

応募方法等については茨城県ナースセンターにお問い合わせください。

TEL 029-221-7021

MAIL ibaraki@nurse-center.net

URL ibaraki-nc.net/

看護職セカンドキャリア研修 ～開催案内～

日時 令和元年12月6日(金) 13:30～16:00 (13:00受付開始)

場所 茨城県看護研修センター1F A研修室(水戸市緑町3-5-35)

対象 概ね55歳～70歳で就業中または退職し看護職の仕事を希望する看護職

内容 「私のセカンドキャリア発表」

看護職員3名より自身の看護職としてのセカンドキャリアを発表いただきます。

応募方法等については茨城県ナースセンターにお問い合わせください。

TEL 029-221-7021

MAIL ibaraki@nurse-center.net

URL ibaraki-nc.net/

管理者等研修 ～報告～

No.208 人事労務管理の基礎知識・コミュニケーション(承認力)向上研修

日 時 令和元年9月11日(水) 10:00～16:00
場 所 看護研修センター 4F 大研修室(水戸市緑町3-5-35)
参加者数 123名

参加者の声

- 自分の足りないところが表に出てきて、良い機会になりました。
- 自分にとっての課題が見つかった。知識とコミュニケーション技術を磨いていきたいと思った。
- グループワークでメンバーの話を聞くと、同じ内容で悩んでいることが分かり良かった。
- 近い立場の、違った立場の方の話が聞けて、とても心に残る研修だった。
- 承認カードなどを使うことで、自分の弱みが見えた。今後の課題として取り組みたい。
- 管理職者の大変さ、やらなければいけないことを学んだ。
メッセージ交換が参考になった。
- スタッフに対する声掛けや、気に掛けていくことについて、再認識できた。
- 慣れない師長業務でパソコンに向かうことが多くなっている。パソコンを見るよりもっとスタッフ一人ひとりをみて承認する時間を持っていかねばと感じた。

No.209 看護サービスにおける経済性～数値で読み解く医療・看護の経営指標～

日 時 令和元年11月7日(木) 10:00～16:00
場 所 茨城県看護研修センター 4F 大研修センター
講 師 茨城キリスト教大学 看護学部看護学科 教授 池袋 昌子 氏
参加者数 59名

管理者等研修 ～今後の開催予定～

No.210 看護職の健康と安全に配慮した労働安全衛生について学ぶ

日 時 令和元年12月5日(木) 13:30～16:00
場 所 茨城県看護研修センター 4F 大研修センター
講 師 NPO法人看護職キャリアサポート フリージア・ナースの会 伊藤 清子 氏
備 考 開催文書発送済。申し込み受け付け中。
茨城県ナースセンターHPより申し込み用紙をダウンロードできます。

Ⅰ AED研修 ～参加報告～

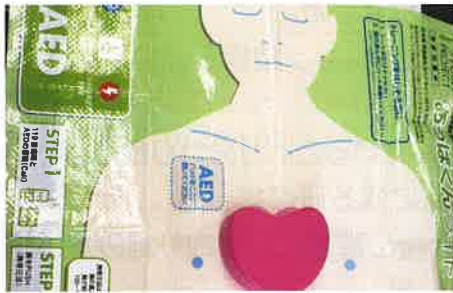
10月2日(水)にフクダ電子㈱の青沼様を講師としお招きし、AED研修会を行いました。ナースセンターからは、事務職2名が参加し、AEDの操作方法等を学びました。

実際にデモ機を使って実践的な練習も行ったので、操作方法や手順をきちんと理解し覚えることができました。

心臓突然死は年間7万件と年々多くなっています。

心停止を起こしてから、胸骨圧迫又はAEDを実施する時間が1分遅れるたびに救命率が10%低下します。

みなさんもAEDの使い方について学習し、もしもの時に備えませんか？



Ⅰ 茨城県看護協会(研修部)がTwitter ～開設～

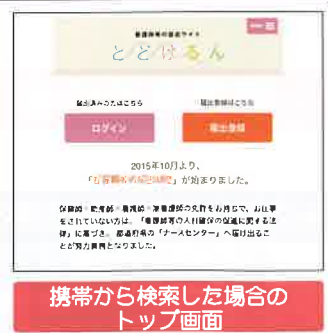


協会・ナースセンターで開催する研修に関する情報をお届けします!!
フォローよろしくお願いします!!



看護職の届出制度 (とどけるん)

- ①インターネットで「とどけるん」と検索
- ②検索結果「届出制データベース とどけるん」をクリック



届け出方法

1 パソコン・スマートフォンで届出

- 1) 「とどけるん」でID申請
- 2) ID申請画面で必要事項を入力し、登録
- 3) 本登録用メールを受信

- 4) 受信メールに記載されているURLにアクセス
- 5) ログイン・パスワードを設定
- 6) 届出登録画面にて必要事項を入力し、登録
- 7) 登録完了メールを受信

2 届出票を郵送又は持参

【郵送先】〒310-0034 茨城県水戸市緑町3-5-35 茨城県ナースセンター 届出制度担当者 宛
届出票は『とどけるん』よりダウンロードできます。